



自然農と六次化での地域おこしを市長に提案

函南町で5/21(土)に自然型農業体験イベント、オンライン配信も



肥料高騰・食料自給対策を背景に

日本豊受自然農代表・由井寅子が、伊豆の国市長を表敬訪問。環境に配慮した自然型農業による町おこしを提案しました。5/21には函南町で体験イベントも。

農地所有適格法人日本豊受自然農株式会社(本社:静岡県函南町) 代表取締役・由井寅子が、5月17日(火)、伊豆の国市・山下正行市長を訪問。同市での耕作放棄地整備での農地集約や農業展開が評価され、今年2月に静岡県から受けた表彰の報告と、同社の自然型農業から六次産業化のビジネスモデルづくりに挑戦するユニークな事業展開や開発商品群を紹介、伊豆の国市での今後の農業及び六次産業化推進についての提案を行った。

同社は、静岡県では函南町、伊豆の国市、伊東市と北海道壮瞥町仲洞爺で自然型農業を行っているほか、食料危機に対してニーズの高まる保存食の開発や、環境に配慮した土作りを広く提案。昔ながらの腐葉土由来の土壤菌群を自社培養した「豊受御古菌」を活用した堆肥で土壌を再生し、実践を通して化学肥料を使わない農法を奨めている。

また、地域での自然型農業の魅力を紹介するため、例年春と夏に150名規模での自然農体験の観光ツアーを実施しており、今年は5月21日(土)に「春の花摘み1日まるごと豊受自然農体験ツアー」として開催。収穫や植え付け体験を行う。当日参加できない方は、ライブ配信でも視聴可能。地域の観光資源としても注目される自然型農業を全国に向けてPR。当日は、国際的な事情を背景に迫りつつある食糧不足・食品価格の高騰などから注目を集める食品の備蓄ノウハウの紹介や、マンションでも種とりが楽しめるプランターでの家庭菜園などの実演も予定。静岡名産の日本茶の野点なども行う。ツアーのオンライン配信申し込みページは「函南 花摘み自然農体験ツアー」などで検索可能。問い合わせ先は、03-5797-3371まで。

農地所有適格法人 日本豊受自然農株式会社

代表者:代表取締役 由井寅子 設立:平成23年10月

本社:静岡県田方郡函南町平井1741番地の61

URL:<http://www.toyouke.com>

【本件についてのお問合せ先】

東京事務所:03-5797-3371 mail:info@toyouke.com

“私たちについて”



安心安全、栄養価の高い作物は土壌から

農薬、除草剤、化学肥料などは使いません。落ち葉、竹粉などに土壤菌をまぜた堆肥を独自に作り、農業を行っています。

種へのこだわり

雄性不稔F1種、遺伝子組換え種、ゲノム編集種など「不自然な種」は使わず土壌と地域にあった在来種・固定種による栽培を行っています。

六次化

オーガニック加工品(食品・化粧品)の開発・製造も自社で行っています。商品は直営ショップやオンラインで販売。「食べて健康になる食事」を自社レストランで提供しています。